

取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

1. 接続部の水漏れ (図4参照)

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

- 止水栓とアダプターの接続部。
- アダプターと給水・湯給ホースの接続部。
- 給水・湯給ホースと給水・湯給パイプの接続部。
- 給水・湯給パイプと本体の接続部。
- 本体とレバーの接続部。
- 本体と吐水口の接続部。

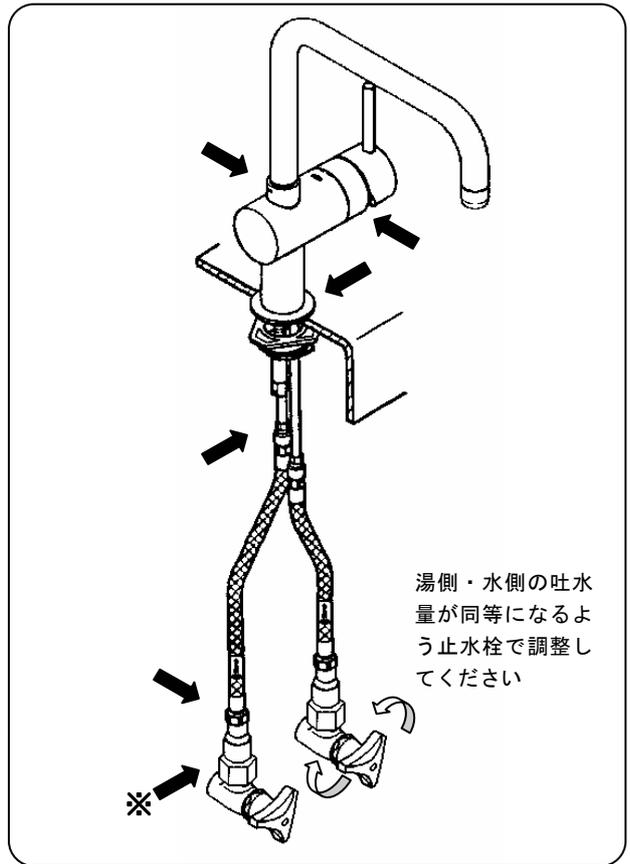
※特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締付を行ってください。

2. 水量・湯温の調節 (図4参照)

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節してください。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

図4



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

泡沫器

2. ゴミづまりはないか?

※新品時はシールテープ、グリス等が付着していることがあります。よく洗い流してください。清掃方法についてはお客様用取扱説明書をご参照ください。

吐水口オーリング

8. キズ・ゴミかみはないか?

吐水口

9. きちんと施工されているか?

水漏れ防止パッキン

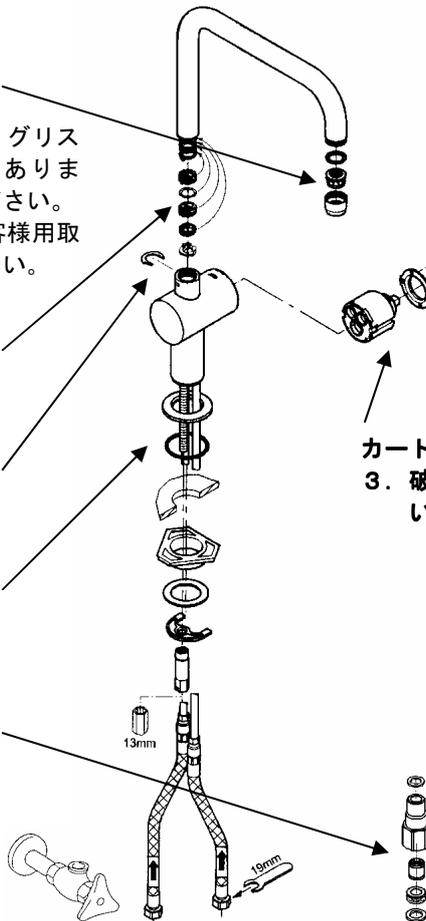
6. きちんと取り付けられているか?

逆止弁

7. 破損・ゴミかみはないか?

止水栓

1. 全開されているか? 圧力は十分か?



カートリッジ

3. 破損・ゴミかみはないか?

カートリッジ止ビス、ナット

5. 十分に締め付けてあるか?

スクリーセット

4. きちんと取り付けられているか?

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2. 7
水が止まらない	3
温度不良	1. 3. 7
レバーがガタつく	4. 5
カウンター内に漏水する	6
吐水口より漏水する	8
吐水口が回転しない	9

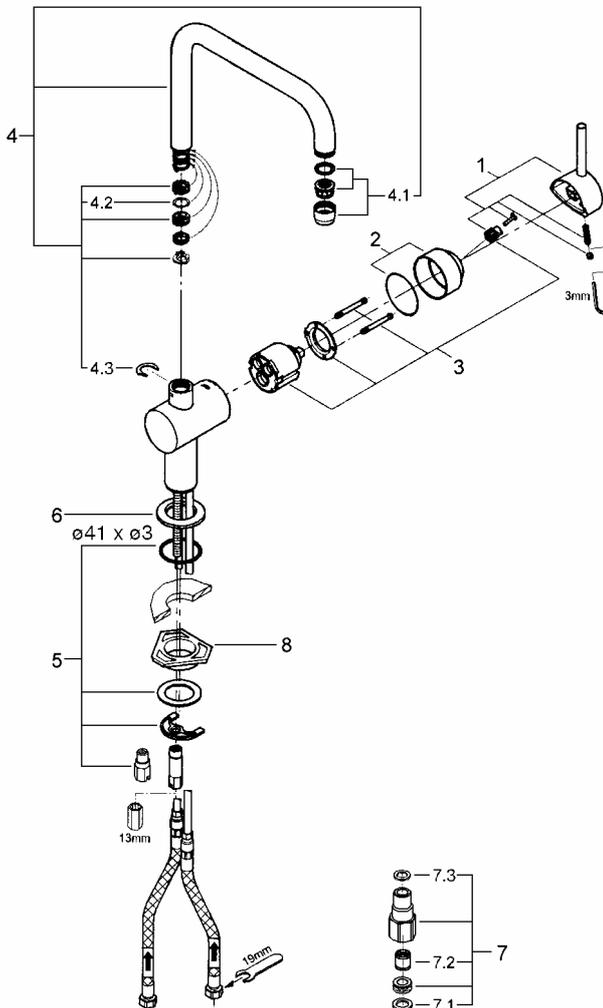
シングルレバーキッチン混合栓据付説明書 (お客様にお渡しください)

機種名	一般地用品番	寒冷地用品番
アトリオ	3200310J	3200310C
ミンタ	32445000	3244500C
ミンタ	32917DCJ	32917DCC
ミンタ	32507000	3250700C
ミンタ	32488DCJ	32488DCC

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

分解図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	レバーセット
2	化粧カバー
3	セラミックカートリッジ
4	吐水口
4.1	エアレーター(マウザー)
4.2	Oリング
4.3	クリップ
5	締付セット
6	化粧プレート
7	逆止弁アダプター
7.1	1/2 パッキン
7.2	逆止弁φ15
7.3	3/8 パッキン
8	固定板(あり・なし)

※図は32507000です

※カウンター穴あけ寸法はφ34～φ37で行ってください。
カウンター厚 60mm 以下。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.05Mpa [0.5kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.05Mpa [0.5kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバー、ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度（60℃）設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C m²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

● 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

● 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

● 給水は上水道に接続してください。

※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

● 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

● 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。

● 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

● 配管接続部を隠ぺいしないでください。水切棚に取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

● 給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

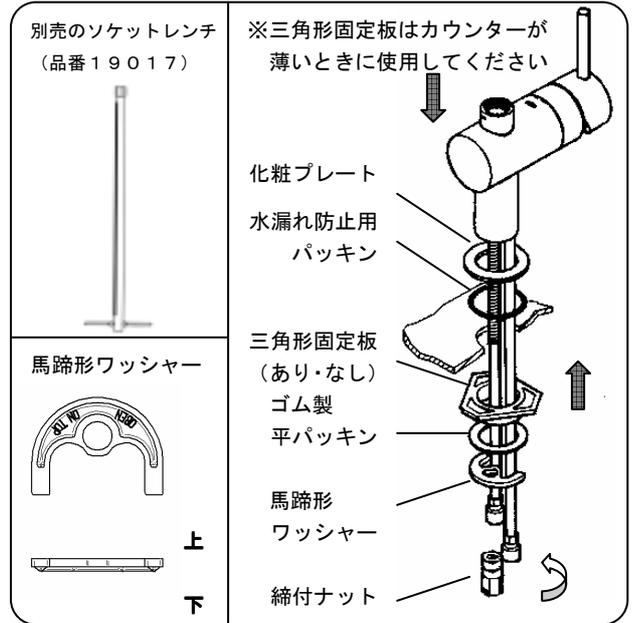
● 逆止弁（接続）アダプターの接続ねじは平行ねじ G1/2 です。テーパねじ (TP1/2, R1/2) には使用しないでください。また止水には付属のパッキンは必ず使用してください。

据付手順

1. 本体の取り付け (図1参照)

- ① 本体付属部品を収納している小袋から、水漏れ防止用パッキンを取り出し、化粧プレートに取り付けてください。
- ② 本体をカウンター上部から取り付け穴に挿入します。本体が正面に向くようにセットしカウンターうらから三角形固定板 (あり・なし)、ゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーを挿入し、締付ナットで締め付けてください。
 ※三角形固定板、ゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーがきちんと重なっていること。又、本体水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。水栓を固定する際、取り付け穴が水栓本体の中心にくるように取り付けてください。
 ※水栓本体が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。
 ※馬蹄形ワッシャーには上下があります。縁どりしてある平らな面が上になります。
 ※固定には別売 (市販品) のソケットレンチ等を使用して確実に締め付けてください。

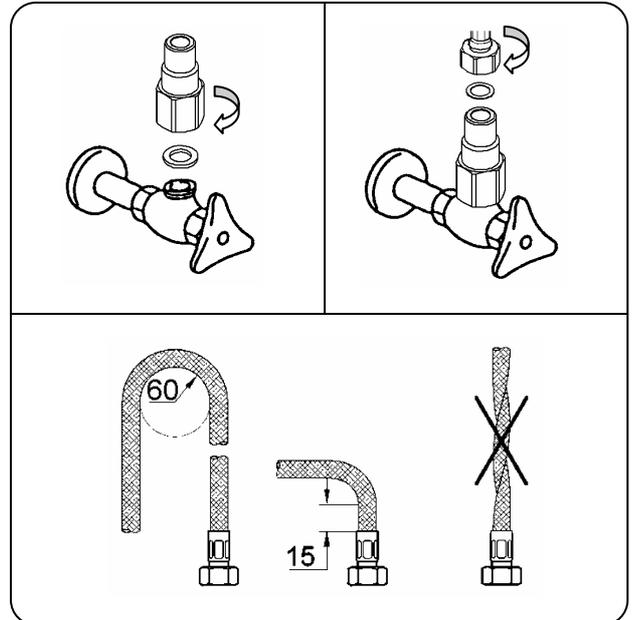
図1



2. 給水・給湯管の接続 (図2参照)

- ① 同梱の逆止弁 (寒冷地用はアダプター) を止水栓にネジ込み確実に固定してください。
 ※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。
- ② 給水・給湯管を逆止弁に接続してください。
 ※ホースがねじれないように配管してください。ホースがねじれて配管されると、加圧した際ホースを取り付けたナットの緩みの原因になります。
 ※給水・給湯ホースが折れないように注意してください。ホースを曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあります。折れた部分から早期破壊を生じる可能性があります。据付時には、最小曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げないように、ご注意ください。
 ※水栓本体端面から極端に給水・給湯ホースを屈曲して、据付しないでください。
 ※ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の磨耗による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

図2



3. 吐水口の取り付け (図3参照)

- ① アトリオは、吐水口取出部のストッパーを必要な回転 (首振り角度 180°、360°) に合わせ、ストッパーを取り外すか選択してください。
- ② ミンタは、吐水口に付属しているストッパーリングを取り外し、本体の吐水口取出口に必要な回転 (首振り角度 150°、0°、360°) に合わせ図の通りセットしてください。
- ③ 吐水口を正面に向け、吐水口取出口に差し込んでください。
- ④ 吐水口に付属しているクリップを吐水口取出口の後部の切り込みに軽く叩きながら完全にはめ込んでください。
 ※吐水口の回転がスムーズであることを確認してください。

図3

